

子どもの命を守るために

— 災害や危機に対する大人の役割 —

2008年7月28日に神戸市灘区の都賀川で起きた水難事故から、6年が過ぎようとしています。この災害で亡くなった5名のうち、3名が子どもでした。保育園の帰りや学童保育所の外遊びの際に、事故に遭遇しました。

子どもたちが災害や危機に遭遇した時、その命を守るために日頃から大人たちができる役割があるはずです。具体的に何ができるのか、何をすべきなのかを、専門家を交えて皆で考えたいと思います。



都賀川甲橋付近 2012.7.21

日時：7月6日（日） 午後2時～4時半

場所：灘区民ホール 1階会議室

講演内容：

- ・田結庄 良昭 氏（神戸大学 名誉教授 地質学を専門とし、兵庫県南部地震や佐用豪雨、都賀川水難事故など災害の要因解明とその防災対策、復興の検討を住民の立場から行っている）

「都賀川水難事故は防げたか？ 南海トラフ地震災害にどう備えるか？」

- ・室崎 益輝 氏（兵庫県立大学 防災教育センター長 防災研究者として数多くの災害検証に携わり、東日本大震災では宮城県石巻市立大川小学校の事故検証委員会委員長を務める）

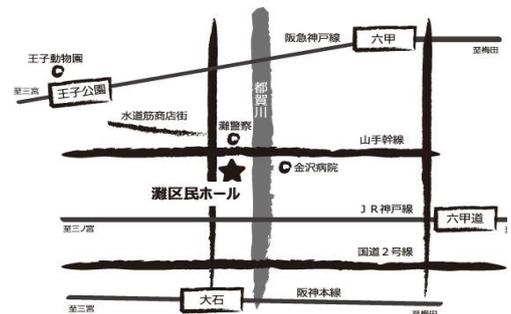
「都賀川水難事故検証とその後の自然災害検証から見えてくるもの」

- ・住友 剛 氏（京都精華大学 人文学部教授 専攻は教育学・子どもの人権論、学校事故発生後の検証作業や遺族への対応など「事後対応」について研究・実践に取り組む）

「問われているのは『おとなの対応』であって、子どもではない」

参加費：無料、資料代：200円

共催：神戸市立灘区民ホール



【問い合わせ】〈7月28日を「子どもの命を守る日」に〉実行委員会

谷口 TEL:090-2704-0546 E-mail:rurenokai@gmail.com

「都賀川水難事故犠牲者を偲ぶ会」

偲ぶ会 プログラム (予定)

日 時 7月28日(月) 午後2時より
(会場は午後1時半から7時まで開放)

場 所 都賀川公園
(「グルメシティ灘」の東側、甲橋付近)

- ✦ ごあいさつ
- ✦ 献 唱 (神戸市立長峰中学校 コーラス部)
- ✦ 献 奏 (甲陽音楽学院生)
- ✦ 献 奏 (オカリナ 飛田雄一)
- ✦ 献 唱 (神戸市立葺合高等学校 コーラス部)
- ✦ 終わりのことば



偲ぶ会の様子



折り鶴のお願い



7月28日の偲ぶ会の際に、子どもたちや地域の皆さんに折っていただいた折り鶴を都賀川にかけたいと思います。折り鶴を折っていただきますよう、ご協力をお願いします。

- ★ 折り鶴を糸でつないでいただくと助かります。1mほどの長さにつないでください。
- ★ 作っていただいた折り鶴は、7月1日以降、灘区民ホールで随時預かってもらえますので、そちらに預けてください。あるいは、当日11時から12時の間に偲ぶ会の会場に届けていただいても結構です。

**7月28日を
「子どもの命を守る日」に**

2014年6月発行

〈7月28日を「子どもの命を守る日」に〉実行委員会

TEL:090-2704-0546

E-mail:rurenokai@gmail.com

